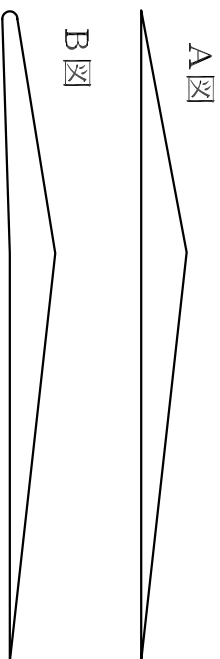


中空翼製作の諸注意

切出し線（実線）は、正確に切り出して下さい。僅かな寸法違いがキャンパールの高さや左右のアンバランスを招きます。破線は山折線です、点線（青）は谷折線になります。翼の後縁の接合は、エポキシ系の接着剤（なるべく硬化時間の長いタイプ）が良いでしょう。接合したら、セロテープなどでずれないように仮止めします、そして平らな板にセロテープで押さえつけて置きます。グリキュラー（半硬化）状態（残りの接着剤を爪楊枝などで突付いて判断）で一度板から取り外して歪みを確認します。万一左右の形状に差が認められるときは、この時点で腕力で補正します。再び平板上に仮止めして完全硬化させます。上面と下面の折り返し（翼前縁）は2つの折り方が有ります。一つは破線にNTカッターなどで軽く切り込みを入れて、鋭く折りまげる方法と、定規を当てて通常に折りまげる方法です。断面図を参照して下さい、鋭く折った場合はA図のようになります、鈍く折った場合はB図の様な翼型になります。



A図

B図

B図の方が空力的には優れていると思われませんが、下側の膨らみが平均にならず如何しても左右バランスが上手く取れない難点が有ります。A図の場合はバランス良く作る事が可能ですから、私はA図で我慢します。

尚、貼り付け前に、全ての折り線は予め折り癖を付けて置いた方が無難です。

仕上げ：この図を折り線に従って作ると、完成表面に図の線が出ます。

キャンパールの線以外を線が消える程度にサンドペーパーで面取りをすると良いでしょう。